

株式会社 ITS MORE

2020年4月設立

2020年9月23日 投稿者: SATOXITS

GShell 0.4.9 – client-side script++

社長：ブログの記事が長くなったかどうかは、ブラウザ上で隣のサイドバーを超えたかどうかで見ているのですが、昨日の記事はそれをはるかに超えてしまいました。どうも納得がいきません。

基盤：でも実際、Safariで印刷して30ページあります。

開発：電子レンジ対応どんぶりの選定が長かったですかね。

基盤：チン丼屋ですね。

社長：さっと読み直したらタイポだらけで、それはいつものことですが、意味不明な部分があります。

開発：「あんな」ってなんですかね？

社長：文脈からして「案外」か「なかなか」のどちらかだと思うんですが。ankana、nakanaka。似てます。なかなかを採用しましょう。これを直して再魚拓。

開発：書いた直後にしかわからないことはありますね。

社長：文章では特にありがちですが、プログラムでもそうだったりするんですよ。構文エラーにはならない意味的なもの。書きちゃったら忘れちゃうので、思い出すのが大変です。

開発：プログラムの場合、そこが何か変だなと思って整えたら壊れちゃったって事もよくあります。一つのケースで考えると無駄か不自然だと思うわけです。でも別のケースで考えると必要だったみたいな。

社長：なので、若い頃は共通化して一般化してコンパクトに書くことを心がけてましたが、その後はべたべた具体例的に並べて書くことが多くなりましたね。

開発：若い頃って、放っておくと際限なく一般化したくなったりする感じでしたね。汎用に作りたい、一粒でなんでもできちゃうのが最高みたいな。

社長：だから変更の影響範囲が大きかったし、後から読みにくかった。さりとて、標準ライブラリみたいにはインターフェイスを詰めて無いから、中身を読まない仕様が完全にはわからないという。まあ、ずっと、落ち着いて考える余裕がありませんでした。

開発：とりあえず動いてうれしい刹那的プログラミングに比べると、仕様を見渡して整合させて確定させる作業は地道で時間が掛かりますからね。

社長：抽象的にトップダウンに考えてるとものが進まないし動くものできない。具体例を作って動かすほうがためになるわけです。具体例を幾つか作ってるうちに共通性が見えてくるので、一般化してマージする。この進め方は開発効率の上でもモチベーションの上でも悪くないと思うんです。少なくとも、あるフェーズまでは。

開発：実装を整理すると連続性がなくなるので、あとで問題が発生した時に追いかけるのが大変になる面はあります。

社長：diff の ! は見にくいので + だけにするようにしたりとかしてましたね。決して引かないw

開発：それもあって DeleGate は30万行になりました。

社長：そもそも人間は物理的に離れた2つのものを比較するのが得意じゃないですよ。しかも diff が、差分のかたまりを大きく作ろうとする傾向のアルゴリズムなところが大問題。人間の読み易さとかはあと付けの -c 程度で、もともと何か違う事を意図しているのでは。patch の処理効率とか？

開発：確か昔CACMにdiffのアルゴリズムが乗ってて、へーこういうものがCACMに乗るのかと驚いたような記憶があるんです。

社長：まあ、あこがれの学会誌でしたからね。

基盤：一番長いのは http.c の 13654行かと思ったら、X.c が 13820行で1位です。X プロトコルの中継にそんなに力を入れてたんでしょうか？

開発：そんな記憶はないですね… ああ、これは yymux プロトコル関係ですね。今で言えば WebSocket みたいなやつ。Y11 というプロトコル名にしたので、X.c に同居させたみたいな雰囲気です。

社長：というか、yysh もその中に入ってます。

基盤：こういうコメントが入ってます。

```

/*
 * -Fy11 host[:port] [-options] [remote-command args] [: local-command args]
 * proxying: -Fy11 proxy[:port]//host[:port] ...
 */
static void putHelp(int ac,const char *av[]){
printf(": ////////////////////////////////////////////////// 2010/01/24 Y.Sato @ @ AIST.Gov.Japan\r\n");
printf(": X proxy on the top of the Y11 protocol      ( - ) {%s} \r\n",myYY11VER);
printf(": Usage:                                     _< >_\r\n");
printf(":   server                                     \r\n");
printf(":   serv%% delegated -P6010 SERVER=y11         \r\n");
printf(":   proxy\r\n");
printf(":   prox%% delegated -P6010 SERVER=y11 RELAY=y11\r\n");
printf(":   client\r\n");
printf(":   clnt%% delegated -Fy11 serv [remote-command] [: local-command]\r\n");
printf(":   client via proxy\r\n");
printf(":   clnt%% delegated -Fy11 prox//serv [remote-command] [: local-command]\r\n");
printf(": Note:\r\n");
printf(":   remote-command is executed at serv and displayed on the X server at clnt\r\n");
printf(":   local-command is executed at clnt and displayed on the X server at serv\r\n");
printf(":   generic proxy as SOCKS or SSLTUNNEL can be used to reach a Y11 server\r\n");
printf(":   add -fv option before the -Fy11 option to peep the activity of Y11\r\n");
printf(": Example:\r\n");
printf(":   clnt%% delegated -Fy11 serv xterm\r\n");
printf(":   clnt%% delegated -Fy11 serv : /usr/X11R6/bin/xeyes\r\n");
printf(":   clnt%% delegated -Fy11 serv xterm -bg red : xlogo -fg blue\r\n");
printf(": //////////////////////////////////\r\n");
}

```

基盤：これはこのコメントの通り動くんでしょうか？

開発：10年前の人が書いた事ですからね… 書いた当時はこの通りに動いたんですけど。

社長：Manual.htmlに書いた事以外はよくわからないですね。まあ終わりの頃はマニュアルに書くほど詰めてないのを色々実験的に作ってた記憶があります。確かに、yyshが最後の頃の作業でした。

開発：などと昔話を書いているうちに、お昼の時間になってしまいました。

社長：今日は、GShell + JavaScript で、client-side CSS と JavaScript をやれないか、トライしてみたいです。

開発：他人のHTMLへのインラインスクリプトとインラインCSSの追い焚きですね。それができるなら最高。もともと技術的に難しい話では無い。でもたぶんセキュリティ上禁止という可能性が大、というところかと思います。

社長：おなかがすいたので食事して来ます。今日は謎の定食屋に再チャレンジ。

* * *

社長：帰りました。今日はあちらこちらに良い曇り空が出てました。



基盤：今日もあそこは飲み放題食べ放題で原価でしたか。

社長：いや、閉まってました。くだおれ方面の和食系は全滅。そういう日なんですね。それでこっちの岸に戻って来たら焼き魚もアウトで、結局一番近くのそば屋でけんちんうどんでした。

開発：まあやる気のないそば屋でも年越しそばとかは頑張りますからね。

社長：それで帰りに郵便受けを見たら、でんこのご使用量のお知らせが入ってました。

基盤：玄関ドアに投げ込む方式はやめたんですね。

開発：4階まで上がるのが大変なんですかね。

社長：実際にドアの前まで来て検針して投函してるんだと思ってたんですが。てことは、物理的な検針はしてないのか…

開発：票に書いてある検針員の名前はロボットでは無いようですけどね。

経理：やはり、ついに大台を超えましたか。401kWh。3段目の料金が痛い。

開発：GShellの暴走事故か？で5kWhは食ってますね。

基盤：支配的なのはエアコンの消費電力と思われます。概算で、0.2kW x 20x24h = 96kWh。

社長：でも、あの時冷房の決断をしなかったら熱中症か何かで、今の私達は存在しなかったかも知れないのです。

基盤：我慢して月2000円のために命を落としてどうするんだってことですね。

開発：暑さに茹だることもなくて、思考力・生産性を落とさずに済んだと思います。1ヶ

月間、室温を気にしたこともありませんでした。

社長：まあ、「脱冷房宣言」の頃は、あまり思考してなかったのかもですね (^-^);

* * *

開発：ふああ… ありゃ、目が醒めたあらまた外が暗くなってました。

社長：また document.write の夢でうなされてしまいました。

開発：早めにカタを付けましょう。

* * *

開発：表示を調整するのにとても時間がかかりました。慣れてないというのもあるのですが。

開発：本題のほうですが、自分のサイト内のスクリプトで開いた内容はいじれるけれど、他のサイトはダメって感じですね。same origin、要は同じサーバの下に無い URL は開けても、その中身にはアクセスできない。

社長：当然と言えば当然というか、逆に同じサーバの下に他人が同居してたら、もっと制約が必要なんだろうとは思いますね。

開発：それはそうと、どうも JavaScript の変数名のスコープがブラウザによって違うような変わらないようなで混乱してます。export が必要だったり、逆に export を受け付けなかったり。

社長：見た目は整いましたので、内容的に詰めて行きましょう。

— 2020-0923 SatoxITS

(^-^)//{Hit j k l h} [gsh-0.4.9.go](http://gshell.org/gshell/) [ダウンロード](#)

<http://gshell.org/gshell/>

/* */*

GShell version 0.4.9 // 2020-09-23 // SatoxITS





GShell // a General purpose Shell built on the top of Golang

It is a shell for myself, by myself, of myself. -SatoxITS(^-^)

0 Fork Stop Unfold Digest Source */ /*

▶ Statement

/ /

▶ Features

/ /

▶ Index

/ /

▶ Go Source

//

▶ Considerations

// /*

▶ References

/ /

▶ Raw Source

/ /



▶ GJScript

```
GJShell Console // gsh-0.4.9-2020-09-23-SatoxITS
%
```

/ /

▶ Form Auto. Filling

▶ class BlinderText

/ / */ // //

▶ Golang / JavaScript Link

/*

Execute command "gsh gj server" on the localhost and push the Join button:

Server: ws://localhost:9999/gjlink1

*///